

新卒者「看護技術研修 基礎Ⅰ・基礎Ⅱ」 ～信頼される安全な看護を目指す～

4月12日(金)～18日(木)のうち4日間、5月9日(木)・10日(金)に、新卒者75名が看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)を受講しました。4月は【末梢点滴静脈注射、酸素療法、移動・移乗・移送(車椅子、ストレッチャー)、経口与薬、直腸与薬、静脈採血と検体の取り扱い、浣腸、輸液・シリンジポンプ、インスリン療法における看護、口鼻腔吸引】、5月は【口腔ケア、筋肉注射、皮下注射、食事介助、経尿道的膀胱留置カテーテル】の看護技術を演習しました。研修では、看護技術の手順や手技だけではなく根拠を理解し、患者の観察やアセスメント、患者への説明や声かけの大切さに気づき、学びを深めていました。



看護技術動画視聴

看護技術の手順、留意点などを確認し演習を行いました。



輸液・シリンジポンプ

ポンプの正しい取り扱い・操作を学びました。指示を見ながら、指差し声出し確認し、7Rの確認を徹底していました。



移動・移乗・移送

患者役を体験し、丁寧な説明や声かけなどが安心感に繋がると実感していました。



静脈血採血

教育担当者から、部署の特徴を踏まえた説明や指導を受けていました。新卒者は、疑問や不明点を積極的に教育担当者に確認していました。

インスリン療法 における看護



皮下注射

腕モデルを使用し、部位、角度、刺入の深さ等に注意し、演習を行いました。手技に集中し、患者への声かけ不十分であったと振り返っていました。



食事介助

リクライニング30°の患者に、食事内容を紹介し、食事(お味噌汁等)を介助しました。患者の反応やペースに応じた支援の難しさと大切さを学んでいました。